

FUKKIREN DAYORI

福機連だより

《 2022 / No.101 》

一般社団法人 福岡県機械金属工業連合会

Fukuoka Machine and Metal Industry Federation

福機連だより

FUKKIREN DAYORI No.101 2022.8

福機連

会長あいさつ	1
第52回通常総会を開催	2
令和4年度事業計画	3
役員名簿	5
福岡県知事へ機械金属工業の振興に関する要望書を提出	6

九州経済産業局

エネルギー白書2022について	15
-----------------	----

福岡労働局

雇用管理に関する法律の改正のご案内	18
-------------------	----

福岡県

中小企業デジタル化支援	20
ものづくり生産性向上中核人材の育成	21
福岡県ものづくり中小企業推進会議	21
福岡県中小企業生産性革命支援補助金	21
中小企業生産性向上支援事業	22
福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点事業	22

令和4年度 研修のご案内	23
--------------	----

ダイアリー(令和4年1月~6月)	25
------------------	----

福機連の主な事業	26
----------	----

協賛広告	27
------	----

会長あいさつ

(一社)福岡県機械金属工業連合会
会長 松本 茂樹



残暑厳しき折、会員及び組合員の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じ上げます。

さて、ここ数年、世界中を席卷した新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という）は、我々の生活や社会・経済に大きな変革を促しました。

人々の生活で言えば、マスクの着用、手指の消毒は当たり前。食事をする際にはできるだけ大声を出さない（黙食）、三密（密集、密接、密閉）は回避する等々。

また、社会・経済で言えば、人やモノの動きは制限され、サプライチェーンは分断され、飲食業をはじめとするサービス業も大きな打撃をうけました。一方、ウェブを活用した会議やセミナー、在宅勤務（テレワーク）が促進されるなど、働き方の変化も顕著となりました。

新型コロナは、福機連の事業にも大きく影響しています。中でも、福機連創立50周年記念式典は、当初は令和2年度に開催される予定でしたが、令和2年度に引き続き、令和3年度も開催の延期を余儀なくされてしまいました。

新型コロナの感染状況につきましては、まだまだ予断を許さないものがありますが、今年10月には、是非とも、皆様とともに創立50周年を祝うことができればと願っております。

昨今では、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴い、資源、原材料の価格が高騰し、製造業には不可欠な希少金属（レアメタル）も入手困難になっています。また、日米金利差などに伴う急速な円安の進行、中国ゼロコロナ政策に伴う物流の停滞など、新型コロナ以外でも様々な問題が発生し、先の見通しが立たない不確実な状況というものが続いております。

こうした状況の中、私ども機械金属工業におきましては、サプライチェーンの再構築、DXの推進、SDGsやカーボンニュートラルへの対応など、喫緊の課題が山積しております。こうした課題の解決に向けて、今後も会員、組合員さまと知恵を出し合い、機械金属工業の持続的な発展に努めて参りたいと考えております。よろしく願いいたします。

終わりに、新型コロナの終息、そして機械金属工業の発展、会員及び組合員の皆様の益々のご健勝を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

福機連第 52 回通常総会を開催しました

令和4年6月10日（金）に、（一社）福岡県機械金属工業連合会の第52回通常総会が、福岡市博多区吉塚の「福岡県中小企業振興センタービル」において、会員24名（内委任状提出者16名）の出席のもとに、開催されました。

総会は、松本 茂樹会長（協同組合豊前鉄工協会理事）の挨拶の後、議長に渡邊 剛副会長（福岡市機械金属工業会会長）を選出して議事に入り、

第1号議案「令和3年度事業報告及び収支決算の承認について」

第2号議案「令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）について」

第3号議案「令和4年度会費の賦課及び納入方法について」

第4号議案「令和4年度取引金融機関及び借入金最高限度額の決定について」が提案され、いずれの議案も原案どおり可決承認されました。

次に第5号議案「役員を選任について」が提案され、事務局より、本年は、任期満了に伴う役員改選の年ではないが、理事・監事の各1名が任期満了に伴う改選のため、役員選任規定に基づき総会に先立ち「選考委員会」が開催され、役員候補者が決定された旨の説明があり、当該役員候補者を総会に諮ったところ、満場一致で承認されました。

次に第6号議案「議事録署名人の選任について」は議長に一任することで可決承認を得、本日予定しておりました議案審議及び報告はすべて終了いたしました。

渡邊議長の降壇後、ご来賓を代表して九州経済産業局 地域経済部 製造産業課長の田口 賀徳様、福岡県商工部中小企業技術振興課長補佐の藤木 秀明様から丁寧なご祝辞を賜り、続いて、多くの来賓のご臨席について、来賓名簿でご紹介を行い、商工中金代表取締役社長の関根 正裕様からの祝電披露の後、通常総会は閉会いたしました。

総会后「情報交換会」に移り、福岡県工業技術センター所長の櫻谷 洋一様の挨拶で開会し、情報交換会が開始されました。

「情報交換会」には、福岡県、商工関係団体、金融機関関係等多くの来賓を交え、有意義な情報交換が行われ、すべての行事は盛会裡に終了いたしました。

今後とも、会員及び組合員の皆さまには福機連を積極的にご活用いただきますようお願いいたします。





令和4年度 事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

福機連としましては、これまで以上に、今後の経済動向や国の経済施策、特に新型コロナウイルス対策等を注視しながら、会員及び組合員の経営発展と技術向上のため、令和4年度事業を次のとおり策定いたしました。

I 実施事業

引き続き、国・県等の公的目的団体が主催する「ものづくり」に関するイベント開催情報を提供し、技術力・経営力の向上を目指して積極的に参加し、イベントの後援、協賛団体として参加するとともに、周知徹底を図っていく。

また、行政施策等に関する情報提供、特に新型コロナウイルス感染症に関する支援策などの情報提供を迅速かつ的確に行っていく。

〈近代化・高度化対策〉

景気の先行きに不透明感はあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気低迷が予想される中、地域経済と雇用を担う中小製造業の発展につなげていくために、関係機関と連携をより強化するとともに、迅速で的確な情報収集に努めていく。

〈安定・振興対策〉

- (1) 国や県等が実施する融資制度や助成制度など、中小企業支援策について、迅速な情報提供に努める。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響による、中小・小規模事業者へ向けた国や県の資金支援策や雇用調整助成、相談窓口の案内などの情報提供を迅速に行う。
- (3) 労働福祉対策として、雇用対策や安全対策等に関する法令改正や施策等についての情報提供に努める。
- (4) 機関誌「福機連だより」を年2回発行・配布する。
- (5) 公的機関・団体が実施する技術研修の日程等の情報提供を行う。
- (6) 関係団体等が開催する研修会・講習会などについて情報提供を行う。

II 共益事業

〈近代化・高度化対策〉

- (1) (独) 中小企業基盤整備機構九州本部・中小企業大学校直方校、(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部の各ポリテクセンター・大学校の受講料の助成、又、会員が実施する「共同研修事業」への助成については、成長戦略分野への進出やグローバルな競争が激しくなる中、ますます人材育成が重視されるため引き続き実施する。

- (2) (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構の生産性向上人材育成支援センターの受託事業については、同センターが提供する生産性向上支援プログラムが会員、組合員の生産性向上支援、生涯キャリア形成に資するものであると認められるため、引き続き実施する。
- (3) 「企業視察」については、類似機関の視察状況及び会員の要望等を参考に、会員企業の業務運営に資する訪問先を選定するとともに、参加経費の一部助成を行う。
- (4) 商工中金経済研究所発行の「景気予報」を年2回配布する。

〈安定・振興対策〉

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の影響により、在宅勤務（テレワーク）・時差出勤など新しい生活様式の導入など、めまぐるしく変わる中小製造業を巡る経済環境の中、組合員の企業安定・振興を図るため、関係団体等が開催する商談会等へ積極的に参加する。

〈建議陳情〉

機械金属工業の持続的な発展を図るため、会員・組合員より寄せられた課題、問題点を取りまとめ、福岡県知事あての要望書を提出する。

Ⅲ その他の事業

〈組織強化対策〉

- (1) 会員及び組合員確保に努める。
- (2) 各ブロックの円滑な事務処理に資するため、事務委託費を交付する。

〈収益事業〉

福機連所有事務所物件（はかた近代ビル3F）を、一般企業に貸与する。

〈創立50周年記念事業〉

延期になった創立50周年記念式典を、次のとおり新型コロナウイルス感染症の感染状況も注視しつつ開催する。

1. 開催日：令和4年10月18日（火）14：30
2. 場 所：ANAクラウンプラザホテル福岡
（福岡市博多区博多駅前3-3-3）
3. 式典内容
 - 功労者表彰：福岡県知事表彰・福機連会長表彰
 - 来賓挨拶
 - 記念講演
 - 祝賀会





役員名簿

(令和4年6月10日)

区分	氏名	所属組合・役職名	再任
会長	松本茂樹	(協) 豊前鉄工協会 理事	
副会長	自見榮祐	響工業団地 (協) 代表理事	
〃	吉田祐司	直方鉄工 (協) 理事長	
〃	渡邊剛	福岡市機械金属工業会 会長	
〃	吉岡秀樹	福岡県中小企業団体中央会 専務理事	
理事	安心院武彦	小倉機器工業 (協) 理事長	
〃	安田敏剛	北九州工業団地 (協) 理事長	
〃	大水静雄	北九州空港鉄工 (協) 代表理事	
〃	井上透	福岡溶接協会 会長	
〃	栗原敬一郎	直方工業団地 (協) 理事長	
〃	高原稔	(公財) 福岡県中小企業振興センター 専務理事	再
常務理事	渡隆三	(一社) 福岡県機械金属工業連合会 事務局長	
監事	永島駿治	福岡東鉄工団地 (協) 理事長	
〃	西竹浩一	戸畑新工業団地 (協) 理事長	再

福岡県知事へ機械金属工業の振興に関する要望書を提出

福機連の会員の声を取りまとめた要望書を、令和4年1月に、松本会長を始め、吉岡副会長と共に、福岡県知事へ要望書を提出し、併せて、県商工部松本部長、同部中小企業技術振興課吉海課長と意見交換もさせていただきました。



1 人材確保対策

(1) 教育機関におけるものづくりの啓発

小学校、中学校、高等学校、大学など、各教育機関において、ものづくりの楽しさや魅力を体験できるようなカリキュラムを積極的に取り入れ、製造業、機械金属工業への興味を持つような教育を実施していただきたい。

回答 (教育庁) (人づくり・県民生活部)

小学校段階では、理科の学習において振り子の運動の規則性や電流がつくる磁力を利用したもののづくりが示されるなど、ものづくりの活動の充実が図られています。

中学校段階では、技術・家庭科(技術分野)の学習の中で、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、ねらいとする力を身に付けさせることとしています。

これらの学習を通して、児童生徒のものづくりに対する興味・関心を高めるとともに、それぞれの内容に応じた知識・技能の習得や、見方・考え方を働かせて問題解決に取り組む思考力・判断力等の育成が図られています。

県立工業高校では、次のような活動を通して、ものづくりの楽しさや魅力を体験し、製造業、機械金属工業への興味を持つための教育を行っています。

- ・インターンシップ ・企業等の高度熟練者による実践的な実習指導
- ・教員の企業等での技術研修 ・工場見学
- ・ものづくりコンテスト、ロボット競技大会など工業系各種大会・コンテストへの参加

福岡県私学協会が行う私立高校の工業系生徒を対象としたインターンシップ派遣や企業による出前授業など、ものづくりを体験し、その魅力を伝える取組に対して助成を行っています。

今後も、このような取組を通じて、引き続きものづくり人材の育成に取り組んでまいります。

【参考】福岡県私学協会ものづくり人材育成事業 概要

①事業主体

福岡県私学協会ものづくり人材育成委員会

②参加校

工業系学科を設置する私立高等学校10校

③事業内容

- ・生徒インターンシップ派遣 ・企業による出前授業
- ・教員の企業等での技術研修 ・教員同士による勉強会の実施

(2) 高校や大学における就職活動の活性化

県立高校、県内大学での就職活動の活性化を図るため、高校、大学において生徒の進路指導を行う立場にある就職担当者が中小企業の仕事内容や労働環境について、もっと知っていただくことが肝要。そのため、就職担当者や担任教員を対象とする、ものづくり中小企業への会社見学やセミナー開催等により、就職担当者や就職希望者と企業間の情報交換をきめ細やかに行っていただきたい。

【回答】（教育庁）（福祉労働部）

県立高校では、進路指導担当部署が中心となり全ての教員で進路指導を行っています。県立工業高校では、産学官連携産業人材育成事業で次のような取組を行っており、生徒や教員が地域の中小企業の仕事内容や労働環境を知る機会となっています。

- ・インターンシップ ・企業の高度熟練者による実践的な実習指導
- ・教員の企業における技術研修 ・工場見学

県の若者就職支援センターでは、高校教員と地元企業が相互理解を深めるための「高校教員と地元企業の交流会」を開催しています。

また、大学等の就職指導担当者を通じて学生に地元企業の魅力を伝えるため、「大学等と地元企業の就職情報交換会」を開催しています。

さらに、地元企業の魅力を発信するため、高校生や大学生等を対象とした企業見学会や座談会等の地元企業紹介事業を実施しています。

今後もこうした取組を着実に実施し、就職担当者や就職希望者と企業間の情報交換を支援してまいります。

(3) 各種広告媒体を利用した県内企業のPR

優れた技術の開発や人材育成などに積極的に取り組んでいる県内の中小製造業の魅力について各種広告媒体を利用し、県内外の学生や若年層に広くアピールを行うことで、製造業のイメージアップを図り、首都圏等から県内中小企業へのUIJターンを促進する取り組みをお願いしたい。

回答 (商工部) (福祉労働部)

優れた技術の開発や人材確保・育成、その他特長ある取組みを実施している県内ものづくり中小企業のPR動画を制作しインターネット上で公開することで、若年層を中心に「ものづくり産業」の魅力発信に取り組んでいます。

県内企業と県外若年求職者との出会いの場を提供し、効率的にマッチング支援を行うことができるよう、UIJターン就職特化型のウェブを活用した合同会社説明会を実施しています。

また、県外の学生に、就職活動時期を迎える前の早い段階から福岡県の地域・産業に目を向けてもらう機会を創出し、福岡県への若者人材の還流を促進するとともに、中長期的に県内企業が若者人材を確保できるよう、ウェブを活用したインターンシップを実施しています。

さらに、県外の大学とUIJターン就職支援協定を締結し、県内企業による学内での企業説明会や業界研究会などの実施により、県外学生の県内就職を促進しています。

今後こうした取組みを着実に実施し、本県で働く魅力や県内企業の魅力を県内外の学生や若年層に広くアピールすることで、首都圏等から県内中小企業へのUIJターン就職を促進してまいります。

(4) 企業と求職者のマッチング支援

県内の就職支援センター等において、合同説明会等を通じた企業と求職者のマッチング支援（紹介、斡旋）の充実をお願いしたい。

回答 (福祉労働部)

県内中小企業の人材確保を支援するため、県の年代別の就職支援センターにおいて、センター登録者への求人の紹介や合同会社説明会等を通じた企業と求職者とのマッチング支援、ホームページ上での企業紹介等を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中にあっても、企業と離職者等との出会いの場を提供できるよう、ウェブを活用した合同会社説明会や県内各地域でのミニ面接会を開催しています。

さらに、人材不足分野の県内企業の人材確保と正社員就職を目指す求職者の早期再就職を支援するため、紹介予定派遣の仕組みを活用したマッチング支援を実施しています。

このほか、70歳現役応援センター、障がい者雇用拡大事業事務局、子育て女性就職支援センターにおいて、求職者と企業のマッチング支援を行っています。

今後こうした取組みを着実に実施し、県内中小企業の人材確保を支援してまいります。

(5) 高度な専門的知識を有する即戦力人材の確保

技術開発、販路開拓、海外展開など新たな事業展開を目指す企業では、高度な専門的知識を有する即戦力の確保が課題となっており、そうした人材の確保に関する支援をお願いしたい。

回答 (商工部)

福岡県は、県内中小企業が新たな事業展開を行う際に必要となる実務経験豊富なシニアを含む

優秀な人材の確保を支援することを目的として、「プロフェッショナル人材戦略拠点事業」を実施しています。

令和2年度からは、大都市圏のプロフェッショナル人材と県内企業との副業・兼業の形態での人材マッチングに重点的に取り組むため、専任の担当者を配置し支援を行っています。

令和3年度には、県とトヨタ自動車九州株式会社において「人材活用の推進に関する協定」を締結し、同社の実務経験豊富な人材を県内中小企業に派遣する取組みを開始しました。

また、地域金融機関と民間人材ビジネス事業者が企業の人材ニーズの情報提供に係る連携協定を締結し、県内信用金庫の取引先企業など、より多くの中小企業の人材ニーズにお応えできる体制を整えています。

引き続きこの取組みに協力いただける大手企業を募集しながら、このような取組みを通じ、中小企業の高度専門人材の獲得支援に努めてまいります。

(6) 外国人労働者の受け入れ支援

中小企業における人材不足は深刻であり、中期的に見ても外国人労働者（及び外国人高度人材）に対する雇用ニーズは今後ますます高まることが予想される。

外国人労働者の受け入れ環境を整えるため、外国人の採用から雇用における諸問題（日本語教育、住宅の確保、医療・福祉等）に対応できるような相談体制の整備をお願いしたい。

回答（企画・地域振興部）（福祉労働部）

県では、県国際交流センター内に、「福岡県外国人相談センター」を設置しており、外国人労働者や帯同家族を含む全ての外国人の来所、電話、メールなどの様々な相談に、専任の職員2名が、日本語のほか21言語で対応しています。

相談内容は、入管手続きや雇用・労働といった専門的なものから、日本語学習、住宅、医療や福祉といった地域での生活に関係の深いものまで多岐にわたっており、その内容に応じて、お住いの市町村の窓口や行政書士会など外部の機関と協力しながら対応しています。今後も、このセンターにより、在住の外国人が抱える様々な相談に対応してまいります。

県では、企業が外国人の雇用にかかわる制度を正しく理解し、受け入れた外国人の方が能力を十分に発揮できる職場環境を整えていくことができるよう、令和元年9月から、外国人材受入企業支援事業において「福岡県外国人材受入企業相談窓口」を開設しています。

この事業では、特定技能や技能実習の制度に関すること、外国人材の定着、能力発揮のための職場の環境の整備等について、相談窓口で個別の企業からの相談に応じ、必要に応じて出入国在留管理局などの専門機関に相談内容をつなぐほか、県内4地域において講習会を実施しています。

今後も、こうした事業主が遵守すべき法令や雇用管理等についての理解を深めていただく取組みを着実に実施し、県内中小企業の外国人材の適正な受け入れを支援してまいります。

2 人材育成対策

(1) 生産性向上に資する中核人材の育成

ものづくり中小企業の有する技術力・ノウハウを承継・発展が図られるよう生産性向上に資する中核人材の育成策を引き続き実施していただきたい。

回答 (商工部)

中小企業の生産性向上に資する中核人材を育成するため、3次元設計のデジタル技術活用講座や、ITを活用した金型、めっき、プラスチックの製造基盤技術講座を開催しています。このような基盤技術に関する中核人材育成は平成28年度より開始し、令和元年度より生産性向上に資する中核人材育成へと発展させ、引き続き開催しています。また、令和3年度からは、新たに、ものづくり中小企業におけるデジタル推進人材の育成を支援しています。

(2) デジタル化推進のための人材育成

ものづくり技術のデジタル化を図るためには、現場の技術者、生産部門の責任者がデジタル化に関する知識を有することはもちろんのこと、企業のトップに立つ経営者がデジタル化の推進に意欲をもって取り組むことが肝要である。それぞれの階層（技術者、現場責任者、経営者）に応じたデジタル化推進に関する人材育成の一層の取り組みをお願いしたい。

回答 (商工部)

新型コロナウイルス感染症の影響をきっかけとして、中小企業においても省人化・遠隔生産体制へのシフトを実現していくための「デジタル技術を駆使したものづくり」への変容が求められています。その様な状況に対応すべく、令和3年度から中小企業の経営者、生産部門の責任者、現場技術者の各層に対する人材育成を実施することで、ものづくり中小企業のデジタル化を強力に支援しています。

(3) リカレント教育等による人材育成

中小企業が持続的に発展するには、新規採用人材だけではなく、従業員の技術の高度化も求められている。そのため、働きながら高度技術を習得できる、大学等におけるリカレント教育や実務研修の充実が必要不可欠であり、それらの教育等の受講を促進する施策の充実をお願いしたい。

回答 (商工部)

従業員の方が働きながら受講できる講座として、3次元設計のデジタル技術活用講座や、ITを活用した金型、めっき、プラスチックの製造基盤技術講座を開催しています。また、令和3年度からは、新たに、ものづくり中小企業におけるデジタル推進人材の育成を支援しています。

また、九経連・九大などと令和3年11月に立ち上げた産学官金連携組織「九州DX推進コンソーシアム」において、企業内でDXを推進できる中核人材の育成に取り組むこととしています。

さらに、商工会議所、商工会をはじめとした中小企業支援機関などの会員企業に対し、北九州市立大学が実施する、社会人リカレント教育プログラムといった情報を提供すると同時に、企業からの要望があれば、プログラムが中小企業にとって使いやすいものになるよう、実施主体である大学に伝えています。

3 事業承継対策

中小企業経営者の年齢分布の推移を見ると、年々高齢化しており、そのピークは65～69歳へと移行している。県のアンケート調査によれば、そうした経営者が60歳以上の中小企業のうち、約75%が「後継者が決まっていない」「後継者が決まっても事業承継の準備に着手していない」と回答しており、中小企業が事業承継か、廃業かといった難しい判断を迫られている状況も見受けられる。

法務、税務、M&A等、事業承継に係る様々な問題を解決するため、支援の充実をお願いしたい。

回答 (商工部)

国が設置しています福岡県事業承継・引継ぎ支援センターでは、後継者不在に悩む中小企業・小規模事業者の事業承継に係る様々な相談に応じており、第三者承継についても、専門家からのアドバイスや引継ぎ相手の紹介を無料で行っています。

また、国では、事業承継やM&A(事業再編・事業統合等。経営資源を引き継いで行う創業を含む。)を契機とした経営革新等への挑戦や、M&Aによる経営資源の引継ぎを行おうとする中小企業者等を後押しするため、事業承継・引継ぎ補助金が創設されました。

県では、事業承継計画に基づき実施する事業の磨き上げや後継者の育成等の取組みに必要な経費の一部を補助しています。

4 金融・資金対策

(1) 高度化資金における個人保証の免除

高度化事業においては、貸付対象の土地、建物等の物的担保とともに組合理事または組合員個人に連帯保証を求められており、そのことが事業承継の重大な障害にもなっている。

高度化資金における個人保証については免除すべきであり、現在継続中の個人保証については免除するよう制度の見直しを行っていただきたい。

回答 (商工部)

高度化事業は、資金面での中小企業支援とともに、行政として債権保全に努めるという2つの視点から進めていかなければならない事業です。現在継続中の貸付については、組合の償還状況や県の債権保全とのバランスを踏まえ、個別に個人保証の免除を検討してまいります。

具体的には、組合から個人保証を免除してほしい旨の要望があり、①個人保証を免除しても債権

の保全が図られると認められる場合、又は②金融機関保証や物的担保を新たに設定することで債権保全が図られると認められる場合に、①、②いずれにおいても（独）中小企業基盤整備機構の同意を得た上で、個人保証を免除できることとなります。

なお、制度の見直しについては、福岡県中小企業高度化資金貸付規則の改正作業を現在行っているところであり、改正作業が早期に完了するよう努めてまいります。

(2) 福岡県中小企業振興資金融資制度の充実

福岡県中小企業振興資金融資制度における審査の簡素化、金利、保証料の軽減、および既往債務に係る返済条件の緩和に取り組んでいただきたい。また、政府系金融機関にみられるような無利子・無担保の県独自の融資制度の創設を検討してほしい。

回答（商工部）

県制度融資については、提出書類の見直しを行うなど、審査の簡素化を図っています。また、金融機関への預託や保証協会に対する保証料補填により、事業者の金利、保証料負担の軽減に努めています。

元金返済猶予や返済期間の延長といった返済条件の緩和措置については、元金返済猶予・返済期間の延長とともに最長3年間猶予（短期運転資金は最長1年間）する条件緩和措置を実施しており、今後の取扱いについても実績等を踏まえて検討を行っています。

なお、現在の資金需要状況から、県制度融資において、無利子・無担保の資金メニューを創設する状況にはないと考えています。

(3) デジタル化促進のための資金援助

製造工程の効率化や生産性向上に繋がるIoTやAIの導入、また、ロボット導入などに要するシステム構築費、設備導入費などに対する補助金や、販路拡大に繋がるWeb等を活用した営業、オンライン商談等に必要な費用に対する補助金等を検討してほしい。

回答（商工部）

「福岡県中小企業生産性向上支援センター」では、企業診断から業務プロセスの効率化や設備導入まで一貫した支援を行っています。また、自動化や省人化等に向け設備導入が必要な場合は、設備選定を支援しており、生産性向上の取組や設備投資にあたっては、県の補助金や低利融資で支援を行っています。

経済産業省が実施予定のIT導入補助金2022では、「通常枠」（補助率1/2）によるITツールの導入費用（ソフトウェア費、導入関連費）やクラウド利用費の支援に加えて、「デジタル化基盤導入枠」（補助率1/2～/3/4）により、会計ソフト・受発注ソフト・決済ソフト・ECソフトの導入費用、PC・タブレット、レジ・券売機等の導入費用の支援の実施が予定されています。

事業者の皆様に対しては、商工会議所、商工会の経営指導員を通じ、この補助金の周知を図っているところです。

(4) 雇用調整助成金

新型コロナウイルス感染症に伴う雇用調整助成金の特例措置は、中小企業の事業継続と雇用維持に大きな役割を果たしており、特例措置の延長や申請の簡素化など制度の充実について国に働きかけをお願いしたい。

回答 (福祉労働部)

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国において雇用調整助成金の助成率や上限額の引上げなどの特例措置が講じられ、本年6月末まで継続する予定とされています。

この特例措置については、令和3年11月に国に対し、県議会と県の連名で、特例措置の延長や周知広報、相談体制の充実などについて提言・要望を行っています。また、知事会の緊急提言の中でも、特例措置の延長について求めています。

県では、県内企業が雇用調整助成金を最大限活用できるよう、県内4地域で社会保険労務士による個別相談支援を実施しています。

今後も県内企業が雇用関係助成金を最大限活用できるよう、国とも連携し、必要な周知や相談支援を行ってまいります。

5 技術の高度化の支援

中小企業の成長発展に向けた新たな挑戦を支援するため、中小企業単独では困難な技術の開発や研究等の支援、新規性に富んだアイデアや技術の事業化に向けた支援が必要である。今後も工業技術センター等の研究機関による技術支援や産学官連携等による研究開発支援などの取組の更なる充実をお願いしたい。

回答 (商工部)

工業技術センターでは県内の4研究所（化学繊維研究所・生物食品研究所・インテリア研究所・機械電子研究所）において、県内ものづくり中小企業の競争力向上を目的とし、企業における新技術・新製品の開発から事業化までを技術相談や共同研究、設備機器使用等により支援しています。加えて、それぞれの研究所に各分野に特化した支援ラボ等を整備し、技術支援機能の強化を進めています。

化学繊維研究所には「高分子材料開発支援ラボ」を整備し、ゴムやプラスチックなどの高分子材料の開発支援に取り組んでいます。企業の生産設備では対応困難な少ない原料からの試作に対応できる設備や各種の評価装置を有しており、ゴム・プラスチック製品の開発に関する幅広い相談等に対応しています。

生物食品研究所には「ふくおか食品開発支援センター」を整備し、食品の加工から評価・助言まで一連の開発を支援するとともに、「食品開発、食品製造プランナー」を配置し、商品企画や食品加工等に関する幅広い相談等に対応しています。

インテリア研究所には「家具試作・評価支援ラボ」を整備し、新しいデザインや機能性を有する家具の開発を支援するとともに、家具の安全性・品質等の性能評価も実施しています。家具製造業事業者自身の製品企画力を高め、戦略的な製品開発ができる活力ある企業の育成を進めています。

機械電子研究所には「デジタル化実証支援ラボ」を整備し、設計から製造・生産までの一連の

ものづくり工程に対するデジタル化支援に取り組んでいます。ものづくり現場におけるデジタルデータ活用の促進により、技術の高度化、製品の高品質・高付加価値化、生産性向上を支援しています。

6 カarbonニュートラルに向けた取り組みへの支援

今やカーボンニュートラルは、世界的な潮流であり、わが国でも、2010年10月に菅総理大臣が所信表明の中で「我が国は、2050年までに、温室効果ガス排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言された。

このカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、中小企業がどのように取り組めばいいのか、また、取り組んだ場合に行政からどのような支援があるのか、基本的なガイドラインを示していただきたい。

回答 (環境部)

県では現在、中小企業向けに、省エネルギー相談窓口の開設及び専門家派遣による助言、省エネルギーに関する各種講座等の開催、環境保全に資する優良な技術や製品を紹介する展示会を開催するなどの支援を行っています。

国が「2050年温室効果ガス排出の実質ゼロ」を目標とする地球温暖化対策計画を改定したことを踏まえ、本県においても、2030年度の温室効果ガス排出量46%削減（2013年度比）及び2050年度の温室効果ガス排出の実質ゼロという新たな目標を掲げた、「福岡県地球温暖化対策実行計画（第2次）（以下、本計画という。）」を2022年3月に策定しました。

目標達成のためには、取組を一層強化する必要があることから、本計画に基づき、中小企業等の脱炭素化を支援するための施策を実施してまいります。

7 (一社) 福岡県機械金属工業連合会への支援

福機連は、昭和45年の設立以来、福岡県内の機械金属工業の近代化及び合理化の促進をするために必要な事業を行うとともに、併せて地域経済の発展に寄与することを目的とし、活動を行ってきた。

今後も引き続き、福岡県とも連携し、時代の潮流に沿った機械金属工業振興のための取り組みを実施してまいりますので、福機連への変わらぬご支援を賜りますようお願いしたい。

回答 (商工部)

福機連の皆さまにおかれては、機械金属工業の近代化・合理化を促進し、健全な発展を図るための活動を通じ、県内ものづくり産業の競争力強化に多大な御尽力をいただき厚くお礼申し上げます。

今後も貴会と緊密に連携し、県内ものづくり産業の振興を行ってまいりたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしく願いいたします。



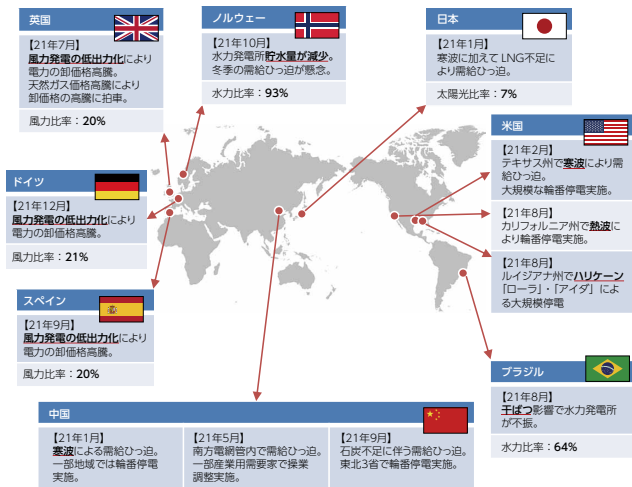
エネルギー白書 2022 について

◇エネルギーを巡る不確実性への対応◇

世界的なエネルギー価格の高騰

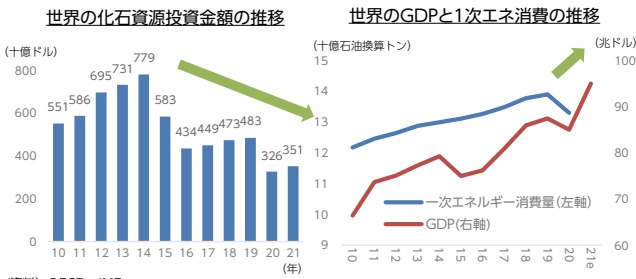
① 2021年、世界各地で電力需給が逼迫。その要因は、2015年以降、原油価格下落で化石投資が停滞し、脱炭素の流れも重なって供給力不足が深刻化したこと。また、新型コロナからの経済回復で各国需要が増大する中で悪天候・災害が重なって風力等の再エネが期待通り動かなかったこと等がある。

① 2021年、世界各地で電力需給が逼迫



出典：エネルギー経済社会研究所作成

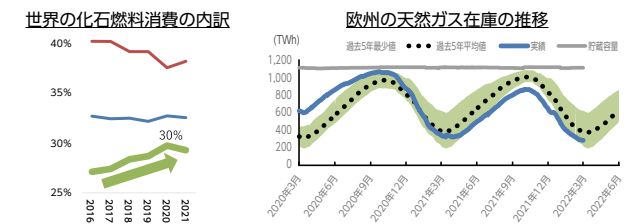
① 化石資源投資低迷と経済回復で、エネルギー需給は逼迫



(資料) OECD、IMF

② 新型コロナからの経済回復の過程で、世界のガス火力依存度は上昇。こうした中で、欧州では2021年初頭の寒波で暖房需要が増加、域内ガス在庫を取り崩し(例年比2割減)。欧州が世界で天然ガス、さらに原油、石炭を買い求めたこと等により価格は急上昇。ロシアのウクライナ侵略で価格上昇はさらに加速。

② 世界全体でガス依存が高まる中、在庫を取り崩した欧州がガスを求めたことが2021年のガス価格上昇の一因に。

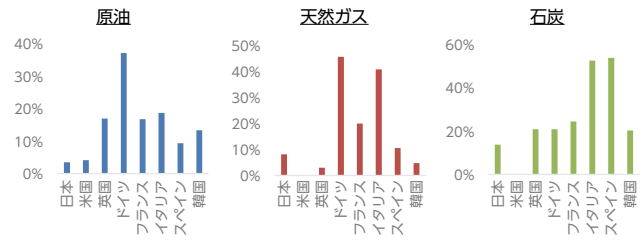


(資料) IEA [World Energy Review 2021] (資料) Aggregated Gas Storage InventoryからJOGMEC作成

ロシアのウクライナ侵略によるエネルギーへの影響

① 欧州は、化石燃料をロシアに大きく依存 (天然ガス：ドイツが約50%依存、石油：オランダが約100%依存等)。ロシアのウクライナ侵略は、欧州のエネルギーにとりわけ大きく影響。

① 欧州は化石燃料のロシア依存度が高い (2020年)



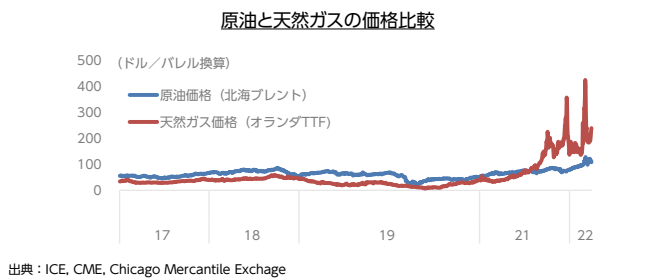
② 量について、2021年中頃から年末にかけて露国営企業ガスプロムの欧州向け天然ガス輸出量が減少。

② ガスプロムのEU向け天然ガス輸出量は2021年末に向け減少

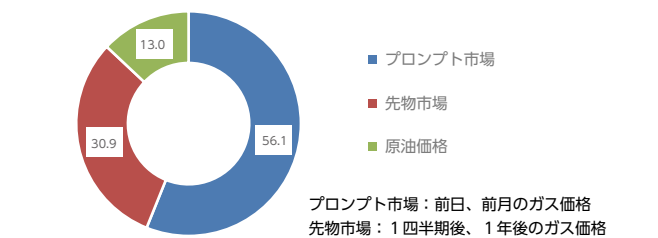


③ 価格について、ガスプロムの長期契約の価格決定方法は、天然ガスのスポット価格連動が大半。このため、天然ガスのスポット価格の高騰が欧州の長期契約分の高騰に直結(なお、日本の天然ガス長期契約は、油価連動が多い)。

③ ガスプロムの長期契約価格は、天然ガス連動が大半



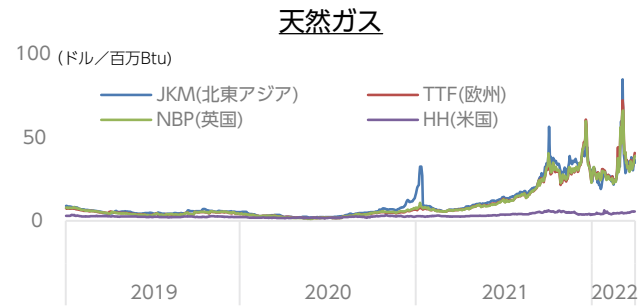
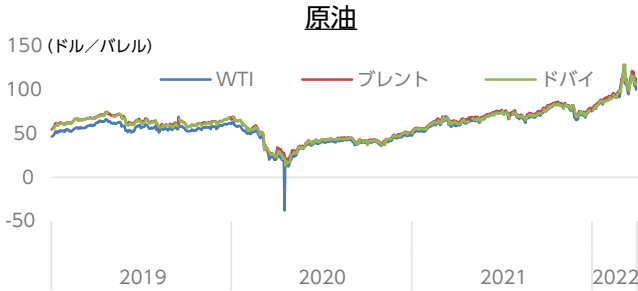
ガスプロムの長期契約のフォーミュラ



世界的な資源高と各国における影響

① **新型コロナからの経済回復に、世界的な天候不順、災害、化石資源への構造的な上流投資不足が複合的に重なり、天然ガスを始め化石燃料価格が急上昇。**ロシアのウクライナ侵略で、価格上昇が加速。

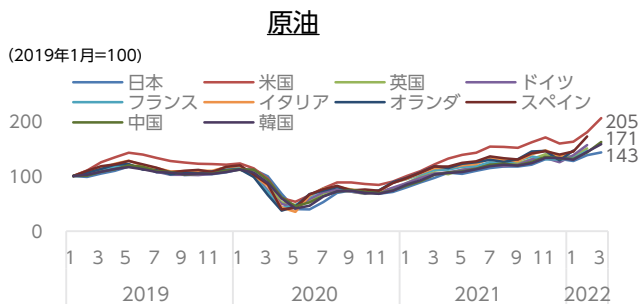
①原油・天然ガス・石炭の市場価格



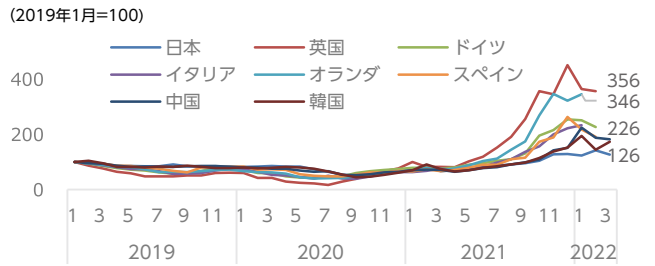
(出所) S&P Global Platts, ICE, CME, Chicago Mercantile Exchange, The World Bank

② **化石燃料の輸入価格も急上昇(英、蘭、独で2倍超。一方、日本はいずれの資源も2倍以下にとどまる)。**

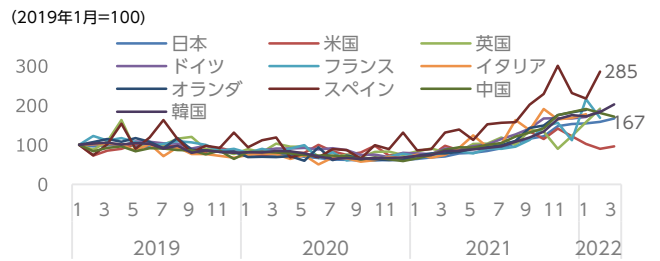
②原油・天然ガス・石炭の輸入価格



天然ガス



石炭

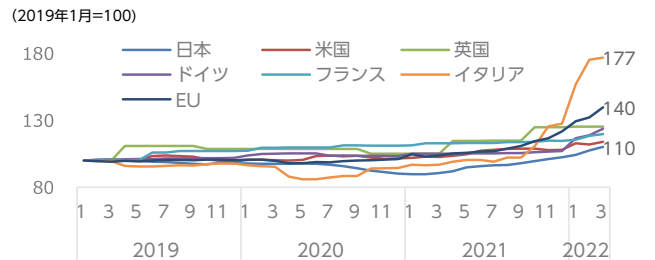


(出所) Global Trade Atlas

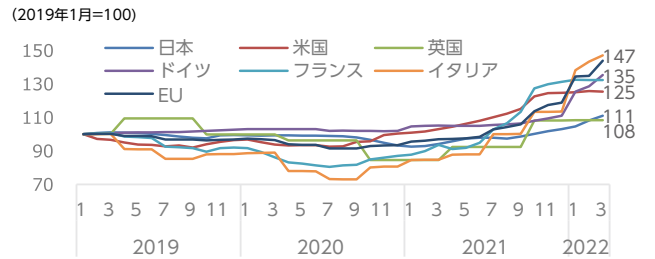
③ **エネルギーの消費者価格も、世界的に上昇しているが、日本は相対的に上昇幅が低い。**

③電気・ガス・ガソリン等の消費者価格

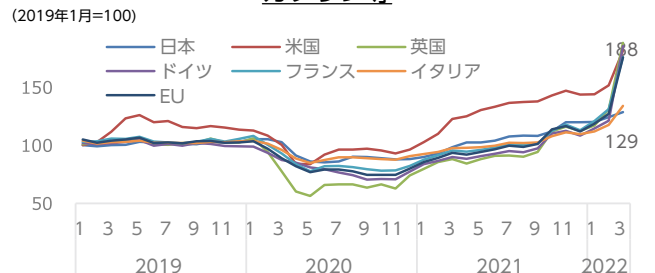
電気



ガス



ガソリン等



(出所) 各国政府統計



◇カーボンニュートラル実現に向けた課題と対応◇

脱炭素を巡る世界の動向

①期限付カーボンニュートラル宣言国は、2021年11月のCOP26終了時に154か国・1地域に拡大(世界のCO2排出量の79%、GDPの90%)。気候変動対策は、高い目標を競うだけでなく、いかに目標達成するかの実行段階に突入。

①2050年など年限を切ったカーボンニュートラル宣言国は年々拡大(154か国・1地域、世界CO2の79%、GDPの88%)



②金融面では、気候変動情報開示を上場企業等に法的に求める「ルール化」が進展(英・米・日、TCFD準拠)。政策面では、脱炭素社会のエネルギー構造(①電化+電力の脱炭素化、②水素化、③CCUS)に各国が支援具体化。

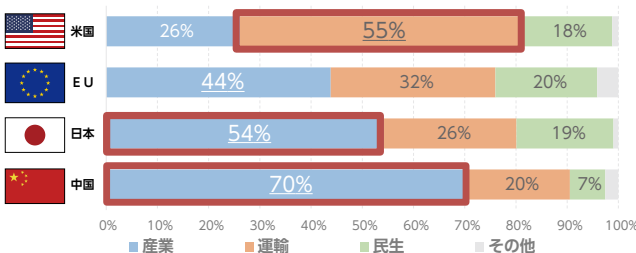
②上場企業に、気候変動の情報開示を求める動きが進む

	英国	22年4月～、1300社の上場企業にTCFDに基づく情報開示を法的に義務付け
	日本	22年度～、東京証券取引所・プライム市場の上場企業はTCFDに基づく情報開示が義務に
	米国	22年3月、証券取引委員会(SEC)がTCFDに基づく情報開示規則案を提示(24年にも義務化)
	国際会計基準財団	国際サステナビリティ委員会(ISSB)を設立。22年末までにESG情報開示の統一国際基準確定を目指す。

③エネルギーを巡る情勢は各国で千差万別(日本・中国は「産業」、欧州は「民生」、米国は「運輸」政策を強化)。各国の事情を踏まえた現実的な脱炭素の取組が、世界全体の実効的な気候変動対策にもつながる。

③カーボンニュートラル実現の道のりは険しく、各国で一様ではない。各国の産業構造・エネルギー情勢を踏まえた対策強化が必要

<各国の2050年目標達成に追加的に必要なCO2削減量の部門別比率(非電力)>



備考：公表済政策シナリオ(STEPS)とNDCや長期目標を加味したシナリオ(APS)の差分から算出
出典：IEA「World Energy Outlook 2021」より経済産業省作成

<各国の2050年目標達成に向けた主な対策>

	運輸：EVインフラ、電気バス、100%SAF化等 産業：電化、水素化等 民生：建物や家電の省エネ基準見直し等
	産業：省エネ規制強化、炭素国境措置導入等 運輸：EVインフラ整備、ガソリン車新車販売禁止等 民生：2030ZEB義務化、既存住宅の省エネ改修の大規模支援等
	産業：省エネ投資、電化、産業構造改革等 運輸：EV購入補助等 民生：住宅省エネ等

◇福島復興の進捗◇

エネルギー政策を進める上での原点～原子力災害からの福島復興～

- 東京電力福島第一原発の廃炉の完遂と福島復興は経済産業省の最重要課題。
- 事故後11年が経ち、一步一步取組は進展するも、中長期的な対応が必要な残された課題に、国が前面に立って着実に取り組んでいく必要。

東京電力福島第一原発の廃炉(オンサイト)

- 事故炉は冷温停止状態を維持。構内の放射線量大幅減
※1F構内の約96%のエリアが防護服の着用不要
- 廃炉に向けた作業は着実に進捗
 - ①汚染水・処理水対策：
 - ・凍土壁等の対策により汚染水発生量の大幅削減
※540m³/日(2014.5)⇒130m³/日(2021年度)
 - ・ALPS処理水の処分に関する基本方針の着実な実行に向けた行動計画の策定(2021.12)
 - ・IAEAによる処理水安全性レビューミッションが訪日し、本レビューに関する報告書を公表(2022.4)
 - ②プール内燃料取り出し：3・4号機完了
 - ③燃料デブリの取り出し：
 - ・水中ロボットによる格納容器内部調査を開始(2022.2～)
 - ・試験的取り出しに用いるロボットアームの試験を楢葉町で開始し、年内開始を目標に準備中(2022.2～)

※ALPS...Advanced Liquid Processing Systemの略

残された課題への対応

- 風評対策の徹底、ALPS処理水の処分
 - ※基本方針決定(2021.4)から約2年程度後を目処に海洋放出
 - ※原子力規制委による審査やIAEAによる確認、漁業者等への安全性に関する説明、安心して事業を継続・拡大できるための支援、放出に伴う水産物需要減少に対応する基金の創設などの取組を推進
- 使用済燃料プール内の燃料の取り出し
- 燃料デブリの取り出し

福島復興(オフサイト)

- 帰還困難区域を除く全ての地域の避難指示を解除済
※避難指示区域からの避難対象者数
8.1万人(2013.8)⇒2.2万人(2021.3)
- 2022年春以降特定復興再生拠点区域の避難指示解除を目指す
※2021年11月以降、順次準備宿泊を開始
- 帰還環境整備の進展
※常磐線的全線開通(2020.3)、道の駅の整備等
- なりわいの再建、企業立地が徐々に拡大
※15市町村の企業立地397件、雇用創出4,490人(2022.3)
- 新産業の集積の核となる拠点が順次開所
※福島ロボットテストフィールド(2020.3全面開所)
※福島水素エネルギー研究フィールド(2020.3開所)

残された課題への対応

- 帰還困難区域の取扱い
※2022年6月以降、各町村の特定復興再生拠点区域の避難指示解除を順次実施
※特定復興再生拠点区域外の避難指示解除に向けて、2020年代をかけて、帰還意向のある住民が帰還できるよう取組を推進
- 帰還促進に加え、移住・定住の促進、交流人口拡大による地元の消費取組み
- 福島イノベーション・コースト構想の一層具体化
※復興庁を中心に関係省庁と連携して、2023年4月に福島国際研究教育機構を発足

雇用管理に関する法律の改正のご案内

働き方に関する各種法律が改正となります。制度のご確認、整備をお願いします。



「育児・介護休業法」が改正されました！～令和4年4月1日から段階的に施行～

▶ 令和3年6月に育児・介護休業法が改正されました。改正のポイントは以下のとおりです。

- ① 育児休業を取得しやすい雇用環境整備及び妊娠・出産の申出をした労働者に対する個別の周知・意向確認の措置の義務付け
 - ② 有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和
 - ③ 男性の育児休業取得促進のための子の出生直後の時期における柔軟な育児休業の枠組みの創設
 - ④ 育児休業の分割取得
 - ⑤ 育児休業の取得の状況の公表の義務付け
- 施行日：①及び②令和4年4月1日、③及び④令和4年10月1日、
⑤令和5年4月1日



職場におけるハラスメント防止対策を強化しました

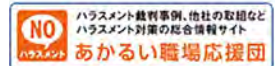
▶ パワーハラスメント防止対策が事業主の義務になりました（労働施策総合推進法）。
令和4年4月1日から中小事業主も義務化

・職場におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置(*)を講ずることが、中小事業主にも義務となっています。

※事業主が講ずべき措置

- ① 事業主の方針の明確化及びその周知・啓発
- ② 相談(苦情を含む)体制の整備
- ③ 職場におけるハラスメントの事後の迅速かつ適切な対応
- ④ プライバシーの保護、不利益取扱いの禁止等、併せて講ずべき措置

※マタニティハラスメントについては、その原因・背景となる要因の解消をする措置を講ずることも必要です



職場におけるパワーハラスメントとは・・・

① 優越的な関係を背景とした言動であって、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者の就業環境が害されるものであり、①～③までの要素をすべて満たすものをいいます（適正な範囲の業務指示や指導についてはパワハラに当たりません）

▶ セクシュアルハラスメント・マタニティハラスメント(妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント)防止対策も強化されました（男女雇用機会均等法、育児・介護休業法）。

・ハラスメント防止のための責務規定が設けられ、パワハラも含め、事業主・労働者の責務が明確化され、令和2年6月1日より、事業主に相談等した労働者に対する不利益取扱いが禁止されています。



正社員と非正規社員間の不合理な待遇差は禁止されています(パートタイム・有期雇用労働法)

同一企業内の正社員（無期雇用フルタイム労働者）と非正規雇用労働者との間の不合理な差をなくし、どのような雇用形態を選択しても待遇に納得して働き続けることができるよう、パートタイム・有期雇用労働法が中小事業主にも令和3年4月1日から適用されています。

改正のポイントは・・・

- ① 不合理な待遇差の禁止
- ② 労働者に対する待遇に関する説明義務の強化
- ③ 行政による事業主への助言・指導等や裁判外紛争解決援助（行政ADR）の整備



◇福岡働き方改革推進支援センターでは働き方改革関連法をはじめ、同一労働、同一賃金、育児・介護休業法やハラスメント防止対策などに関する個別企業支援を行っています。

お問合せ先：福岡働き方改革推進センター（TEL：0800-888-1699）



一般事業主行動計画の策定等の義務の対象事業主を拡大しました（女性活躍推進法）

令和4年4月1日から対象事業主拡大

- ・一般事業主行動計画の策定・届出義務、情報公表の義務の対象を常時雇用する労働者301人以上の事業主から**101人以上**の事業主へ拡大しています。
- ・女性の活躍推進に関する状況等が優良な事業主の方への認定（えるぼし認定）よりも水準の高い**プラチナえるぼし認定**を令和2年6月1日より創設しています。認定マーク「えるぼし」「プラチナえるぼし」は、商品や広告に付すことができ、女性活躍推進企業であることをPRすることができます。優秀な人材確保や企業イメージの向上につながることを期待できます！



新しいくるみん認定がはじまりました（次世代育成支援対策推進関係）

- ・くるみん認定の基準が新しくなり、新たにトライくるみん認定が創設されました。又、くるみん認定、トライくるみん認定、プラチナくるみん認定の一類型として、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業を認定する「プラス認定」を創設しました。また、職場における不妊治療と仕事との両立を支援するため「不妊治療と仕事との両立サポートハンドブック」や「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」を改訂しています。ぜひご確認ください。



新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置の対象期間を延長しました！

対象期間：令和2年5月7日～**令和5年3月31日**

- ・新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置の対象期間が延長されています。妊娠中の女性労働者から医師等の指導を受けた旨の申し出を受けた場合には、女性労働者が指導事項を守れるよう適切な措置を講じましょう。

※主治医等からの指導事項を伝えるためのツールとして**母性健康管理措置指導事項連絡カード**があります。



テレワークを推進しましょう

- ・テレワークは、時間や場所を柔軟に活用できる働き方であり、働き方改革促進の観点からも良質なテレワークの導入・定着を図りましょう。令和3年3月に「テレワークガイドライン」が改訂されています。



お問合せ先：福岡労働局雇用環境・均等部指導課（TEL：092-411-4894）

総合労働相談コーナー（TEL：092-411-4764）

助成金に関して（TEL：092-411-4717）

中小企業デジタル化支援

福岡県では、中小企業におけるものづくり技術のデジタル化を支援するために、ものづくり技術のデジタル化に取り組む県内中小企業の方角の各種セミナーを開催しています。

内容

1 「デジタル化実証支援ラボ」によるものづくり技術のデジタル化支援

- ・令和3年度に工業技術センター機械電子研究所に設置した「デジタル化実証支援ラボ」の各種機器を活用した、ものづくり技術のデジタル化に関する共同研究や技術指導等を行います。
- ・企業の技術者の方に支援ラボの各種機器を活用してもらうためのセミナーを開催します。

支援分野	概要
設計 (CAE) 高度化支援	デジタルエンジニアリングの上流となる製品設計のデジタル化を支援。高度なCAEソフトにより、従来では困難であった接合解析等を実施。
レーザー加工支援	レーザーを活用した金属加工（溶接、熱処理、肉盛り）技術を支援。デジタルデータによる精密なロボット制御とレーザー加工により高度な加工を実施。
IoT・AI活用支援	実際の企業の現場においてIoTによるデータ収集とAIデータ分析を行い、企業での生産管理の高度化を支援。

お問合せ先：福岡県工業技術センター機械電子研究所（TEL：093-691-0260）

2 デジタル化推進人材育成

- ・中小企業の経営者、生産部門の責任者、現場技術者の各階層に対して、それぞれの立場で必要とされるデジタル化に向けた知識・技術を習得するセミナーを開催し、経営・開発・製造現場でデジタル化推進の中核となる人材を育成します。

事業	概要
経営トップ向けセミナー	経営者の意識改革を実現するためのデジタル化の現状等に関するセミナー
デジタルファクトリー推進中核人材育成講座	中小企業の生産部門の責任者などの中核人材を対象とした、自社でのデジタル化実現に向けての進め方や、必要となるデジタル化システムの基礎知識を習得するためのセミナー・実践講座
IoT導入促進に関する人材育成講座	中小企業の実務課題を題材にIoTを活用した改善実習を行う人材育成講座
デジタルシミュレーション手法に関する人材育成講座	作業効率等に関するデジタルシミュレーション手法に関する人材育成講座

お問合せ先：(公財) 飯塚研究開発機構 (<http://www.cird.or.jp/>)
(TEL：0948-21-1156)



ものづくり生産性向上中核人材の育成

福岡県では地方創生推進交付金を活用し、ものづくり生産性向上中核人材の育成を積極的に推進しています。

分野	内容	実施機関
3次元設計	各部品同士の干渉チェックをコンピューター上で行う事で、実製品の設計変更、補正加工を省く技術を習得	(公財) 飯塚研究開発機構
金型	部品の形状・材料変更の短期間サイクルに対応するため、金型の材料技術、デジタル設計技術、IoT活用等を習得	(公財) 飯塚研究開発機構
めっき	高度なめっき技術や、めっき表面処理にかかる試験分析機器、めっき処理工程でのIT活用等について学び、不良率の低いめっき技術を習得	(公財) 飯塚研究開発機構
プラスチック	射出成形で発生する様々な不具合の発生原因を学び、解決するための加工技術を習得	福岡県工業技術センター

お問い合わせ先：※各講座の実施時期等の詳細については、下記へお問い合わせください。

(公財) 飯塚研究開発機構 (TEL: 0948-21-1156)
 福岡県工業技術センター (TEL: 092-925-7723)

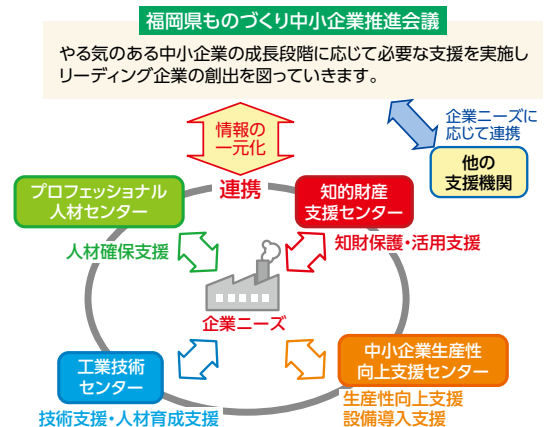
福岡県ものづくり中小企業推進会議

福岡県ものづくり中小企業推進会議は、「成長に向けて意欲のあるものづくり中小企業」の技術高度化に関する自主的な取組を促進し、県内ものづくり産業のリーディング企業を創出することを目的に、新技術・新製品の開発や技術者の育成、知財戦略の策定・実行などの取組を支援します。

事務局：(一社) 福岡県機械金属工業連合会内
 TEL 092-612-5177
<https://www.monodukuri-fukuoka.jp/>

【主な支援内容】

- ・技術開発、知的財産、人材育成・確保等の各支援機関の連携によるきめ細やかな支援
- ・シンポジウム、展示会等の企画を通じた技術交流の場の提供
- ・ホームページ、メールマガジン等を通じた各種支援施策情報の提供



福岡県中小企業生産性向上応援補助金

国の「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業」の11次、12次(予定)の採択を受け、革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善等に取り組む中小企業・小規模事業者に対し、県が国の補助に上乗せ補助を行うことで、事業者負担を軽減します。

お問い合わせ先：福岡県中小企業団体中央会 産業支援課 (TEL: 092-622-8780)

中小企業生産性向上支援事業

「福岡県中小企業生産性向上支援センター」にて、デジタル化、人手不足、コスト削減、品質向上にお悩みの中小企業の実態に合わせた業務プロセスの改善や自動化による生産性向上の取組みを支援します。また中小企業におけるデジタル化ニーズの高まりを受け、令和4年度からは新たに「デジタル支援ユニット」を設置し、中小企業のデジタル化支援体制を強化しています。

〈事業概要〉

01 現地指導を通じた生産性向上支援

- 福岡県中小企業生産性向上支援センターでの支援

中小企業診断士が企業の現場に出向き、企業診断を行った上で課題を明確化します。その結果を踏まえ、経験豊富なアドバイザーが現場の実態に合わせて業務プロセスの改善や自動化による生産性向上の取組みを支援します。また中小企業におけるデジタル化ニーズの高まりを受け、令和4年度からは新たに「デジタル支援ユニット」を設置し、中小企業のデジタル化支援体制を強化しています。



(生産性向上支援事例 Sep.2021)

このほか、設備導入が必要な場合は、設備選定を支援します。

どこに課題があるか分からない企業も幅広く支援しますので、ご応募お待ちしております。

02 資金面での支援

- デジタル技術を活用した生産性向上の取組みや設備投資に要する経費を補助

福岡県中小企業生産性向上デジタル支援補助金

(※募集期間等詳細は県庁HP(商工部中小企業技術振興課)にてご確認下さい)

お問合せ先：生産性アドバイザー派遣事業に関するお問合せ

福岡県中小企業生産性向上支援センター (TEL：092-292-8890)

補助金に関するお問合せ

福岡県商工部中小企業技術振興課人材育成支援係 (TEL：092-643-3433)

福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点事業

技術開発・販路開拓・海外展開など新たな事業展開を目指す企業に対し、プロフェッショナル人材戦略マネージャーが最適な人材探しをサポートします。

また、副業・兼業での人材マッチングを促進するため、専任のスタッフを配置するとともに、県内の中堅・大企業と連携しそれら企業のプロ人材を副業・兼業の形で、県内の中小企業へ橋渡しする取組みも行っています。

お問合せ先：福岡県プロフェッショナル人材センター (TEL：092-622-8822)



令和4年度 中小企業技術者研修受講助成 対象研修日程(9月～3月)

福機連の会員組合員企業者又はその従業員が、「中小企業大学校 直方校」「福岡県内のポリテクセンター」において、研修を受講された場合に《中小企業技術者研修助成事業》の一環として予算の範囲以内で受講料の1/2を限度に助成を行っています。(但し、下記の研修が助成対象になります)
詳しくは、福機連事務局 (092-612-5155) にお問合せ下さい。

研修分野	研修テーマ	受講場所	実施時期	期間	受講料	
階層別	新任管理者研修・10月(博多)	博多キャンパス	10月25日～10月27日	3日間	32,000	
	若手リーダーのためのステップアップ講座	直方校	11月21日・11月22日	2日間	22,000	
	中堅管理者研修		1月17日～1月19日	3日間	32,000	
	次世代トップリーダー養成講座		2月1日～2月3日	3日間	32,000	
	新任管理者研修・3月		3月7日～3月9日	3日間	32,000	
組織マネジメント	部下指導実践講座「コーチングの進め方」	博多キャンパス	9月7日・9月8日	2日間	22,000	
	ムダを省いて計画性を高める仕事管理術(博多)		9月13日～9月15日	3日間	32,000	
	部下指導の考え方・進め方(博多)	直方校	10月4日～10月6日	3日間	32,000	
	部下指導実践講座「上手なほめ方・叱り方」	直方校	10月27日・10月28日	2日間	22,000	
	リーダーシップ強化講座(博多)	博多キャンパス	11月29日・11月30日	2日間	22,000	
生産管理	部下指導実践講座「OJTの進め方」	直方校	3月2日・3月3日	2日間	22,000	
	管理者のためのQCD講座「原価管理」		9月20日～9月22日	3日間	32,000	
	安全に良い製品を作るポカミス対策講座		11月24日・11月25日	2日間	22,000	
	管理者のためのQCD講座「納期管理」		12月6日～12月8日	3日間	32,000	
営業インマゲ	5Sの定着化と成果の高め方	直方校	1月24日～1月26日	3日間	32,000	
	営業担当者の信頼を高めるビジネス心理学(博多)		博多キャンパス	9月28日・9月29日	2日間	22,000
	売上アップにつなげる自社サイトの活用術		直方校	10月25日・10月26日	2日間	22,000
	営業担当者のためのわかりやすいプレゼンの極意		直方校	1月11日～1月13日	3日間	32,000
財務管理	営業担当者のための営業スキルの決め手	直方校	2月14日～2月16日	3日間	32,000	
	会計情報活用講座(博多)	博多キャンパス	1月18日	1日間	16,000	
	経営課題と対策が見えてくる財務分析講座	直方校	2月7日～2月9日	3日間	32,000	
人事・組織	戦力になる人材獲得と定着化	直方校	9月27日・9月28日	2日間	22,000	
	人が育つ会社になるための人材育成		11月28日～11月30日	3日間	32,000	
経営戦略	九州経営者塾(博多)	博多キャンパス	2月21日	1日間	16,000	
機械設計	3次元CADを活用したアセンブリ技術	飯塚	11月21日・11月22日	2日間	8,500	
	2次元CADによる機械設計技術	福岡	9月27日～9月29日	3日間	12,500	
	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	九州能開大	10月1日・10月8日	2日間	8,500	
	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	福岡	10月31日～11月2日	3日間	12,500	
	3次元ツールを活用した機械設計実習	福岡	10月25日～10月27日	3日間	12,500	
	設計者CAEを活用した機構解析	飯塚	11月15日～11月17日	3日間	12,500	
	設計者CAEを活用した構造解析	九州能開大	11月5日・11月12日	2日間	9,000	
機械加工	設計者CAEを活用した構造解析	福岡	12月1日・12月2日	2日間	8,500	
	フライス旋盤加工技術(段加工編)	福岡	10月18日・10月19日	2日間	11,000	
	フライス旋盤加工技術(穴加工編)		10月20日・10月21日	2日間	11,000	
	NC旋盤プログラミング技術	飯塚	10月26日～10月28日	3日間	14,500	
	NC旋盤加工技術	九州能開大	9月3日・9月10日 9月17日	3日間	17,000	
	マシニングセンタプログラミング技術	福岡	12月6日・12月7日	2日間	8,500	
マシニングセンタ加工技術	12月8日・12月9日		2日間	11,000		
成形加工	半自動アーク溶接技能クリニック	飯塚	11月5日・11月12日	2日間	16,500	
	TIG溶接技能クリニック		3月4日・3月11日	2日間	16,500	
	TIG溶接技能クリニック	福岡	9月26日・9月27日	2日間	15,500	
	〈匠塾〉溶接作業における高度熟練技術	飯塚	12月10日・12月17日	2日間	16,000	
		福岡	1月14日・1月21日 1月28日	3日間	27,000	

令和4年度 研修のご案内

研修分野	研修テーマ	受講場所	実施時期	期 間	受講料
検査・測定	精密測定技術（校正編）	九州能開大	11月26日・12月3日	2日間	9,000
	電子回路の計測技術 <テスタ、オシロスコープ編>	福岡	11月19日・11月20日	2日間	9,000
	電気設備のための計測技術	福岡	1月23日・1月24日	2日間	7,500
生産設備保全	生産現場の機械保全技術	福岡	9月21日・9月22日	2日間	10,500
		飯塚	11月16日・11月17日	2日間	8,000
	実践的 PLC 制御技術	九州能開大	11月17日・11月18日	2日間	8,000
	現場のための電気保全技術	福岡	2月9日・2月10日	2日間	9,000
工場管理	製造現場における実践的生産管理	飯塚	9月7日・9月8日	2日間	8,500
	製造業におけるコストダウン実践法 <現場コストを要因と結果で考える>	九州能開大	1月12日・1月13日	2日間	11,000
	製造現場における工程管理技法と改善		11月15日・11月16日	2日間	9,000
	生産現場における現場改善技法	福岡	10月20日・10月21日	2日間	9,000
	生産現場に活かす品質管理技法	飯塚	10月5日・10月6日	2日間	8,500
	生産現場に活かす品質管理技法 <改善対象に合わせた技法活用力を養成>	福岡	12月8日・12月9日	2日間	11,000
電子回路設計	HDL による回路設計技術	九州能開大	1月21日・1月28日	2日間	8,500
	プリント基板設計技術	福岡	10月31日・11月1日	2日間	9,500
		福岡	12月3日・12月10日	2日間	9,500
制御システム設計	油圧実践技術	福岡	12月20日～12月22日	3日間	14,000
	電動機のインバータ活用技術	九州能開大	11月5日・11月6日	2日間	10,000
	PLC プログラミング技術	福岡	10月6日・10月7日	2日間	9,300
		飯塚	2月4日・2月5日	2日間	10,000
		飯塚	2月11日・2月12日	2日間	10,000
		飯塚	2月18日・2月19日	2日間	10,000
	PLC プログラミング技術（IEC 準拠編）	九州能開大	10月13日・10月14日	2日間	9,000
	PLC プログラミング技術（ST 言語編）		12月14日・12月15日	2日間	9,000
	PLC 制御の応用技術	福岡	9月14日・9月15日	2日間	8,500
		福岡	10月20日・10月21日	2日間	9,500
	PLC によるタッチパネル活用技術	九州能開大	12月13日・12月14日	2日間	9,500
	PLC による FA ネットワーク構築技術 （※ EtherCAT、EtherNet/IP、データベースとの通信編）		11月17日・11月18日	2日間	9,500
	有接点シーケンス制御の実践技術	福岡	9月13日・9月14日	2日間	9,500
	画像処理・認識アルゴリズムの知識とプログラミング開発技術	九州能開大	10月25日・10月26日	2日間	13,500
	オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発		9月3日・9月10日	2日間	8,500
	AI 活用による画像認識システムの開発		10月1日・10月8日	2日間	11,500
	モデルベースによる制御システム開発技術		9月13日・9月14日	2日間	13,500
PLC による電気空気圧技術	福岡	9月8日・9月9日	2日間	8,000	
	福岡	1月11日・1月12日	2日間	9,500	
機器組立/システム組立	制御盤製作技術	福岡	11月9日・11月10日	2日間	9,500
電気通信設備工事	一般用電気工作物の施工技術（実践編）	飯塚	9月6日～9月8日	3日間	11,000
			3月5日・3月12日 3月19日	3日間	13,500
	一般用電気工作物の施工技術（施行編）	福岡	11月6日・11月13日 11月20日	3日間	18,000
	VLAN 間ルーティング技術	福岡	9月6日・9月7日	2日間	8,000
生産システム設計	協働ロボットシステム導入への実用的な安全構築と演習	九州能開大	10月26日～10月28日	3日間	14,500
通信設備・通信システム設計	ZigBee によるワイヤレス・センサ・ネットワークの構築	九州能開大	10月22日・10月29日	2日間	11,500
教育訓練	技能継承と生産性向上のための OJT 指導者育成		11月24日・11月25日 1月26日・1月27日	2日間 2日間	6,000 6,000

各研修所（研修の詳細は、各機関のホームページでご確認ください）

（独）中小企業基盤整備機構九州本部

中小企業大学校 直方校：〒822-0005 直方市永満寺1463-2 TEL (0949) 28-1144 FAX (0949) 28-4385

//（博多キャンパス）：〒812-0038 福岡市博多区祇園町4-2 サムティ博多祇園BLDG. TEL (092) 263-1500 FAX (092) 263-1514

（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部

ポリテクセンター福岡：〒806-0049 北九州市八幡西区穴生3-5-1 TEL (093) 622-5738 FAX (093) 631-6516

ポリテクセンター飯塚：〒820-0011 飯塚市柏の森83-9 TEL (0948) 22-4019 FAX (0948) 22-4912

九州職業能力開発大学校：〒802-0985 北九州市小倉南区志井1665-1 TEL (093) 963-8352 FAX (093) 963-0126



ダイアリー

(令和4年1月～6月開催)

月 日	行 事 名	会 場
1月18日	建議陳情	福岡県庁
1月25日	中小企業トップセミナー 2022 (オンライン)	
1月28日	ものづくりシンポジウム 2021 (オンライン)	
2月7日	女性活躍実践会議 D&I 推進討論会 (オンライン)	
2月9日	九州各県工業団体事務局連絡会議 (オンライン)	
3月4日	第233回産学官交流研究会博多セミナー(オンライン)	
3月23日	正副会長会議・理事会	福岡県中小企業振興センタービル
3月29日	福岡県職業能力開発協会理事会	福岡人材開発センター
4月8日	第234回産学官交流研究会博多セミナー(オンライン)	
4月25日	第1回福岡県女性の活躍応援協議会実務者会議 (オンライン)	
4月26日	筑豊ブロック総会	ADOX福岡
5月13日	第235回産学官交流研究会博多セミナー(オンライン)	
5月17日	福機連監査	福岡県中小企業振興センタービル
5月18日	北部九州自動車産業アジア先進拠点推進フォーラム	リーガロイヤルホテル小倉
5月31日	はかた近代ビル通常総会	はかた近代ビル
6月3日	第236回産学官交流研究会博多セミナー(オンライン)	
6月8日	福岡ブロック総会	福岡県中小企業振興センタービル
6月10日	正副会長会議・理事会・第52回通常総会	福岡県中小企業振興センタービル
6月13日	令和4年度第1回福岡県職業能力開発協会理事会	福岡人材開発センター
6月23日	第64回福岡県火災共済(協)通常総代会	福岡県中小企業振興センタービル
6月24日	(公財)九州機械工業振興会創立60周年記念式典	リーガロイヤルホテル小倉

会員及び会員企業の皆様のために福機連の主な事業

金 融

- * 政府系等金融制度の紹介
国・県の商工金融

研 修

- * 中小企業技術者研修の受講料の助成
・ 中小企業大学校 直方校
・ 福岡県内のポリテクセンター・大学校
- * 共同研修事業に対する助成
- * 研修会・後援会の協賛・後援
- * 各種研究発表等催事の紹介

技 術

- * 企業視察

福 祉

- * 保険特約店業務
〔がん保険・医療保険〕
アフラック
・ (株)フレックスファミリー

情 報

- * 機関誌の発行
「福機連だより」年 2 回発行
- * 図書配布
- * 有益な情報の提供
- * ホームページによる情報発信

その他

- * 関係機関との連携・協力
- * 会員及び組合員企業からの相談業務
- * 福岡県ものづくり中小企業推進会議 事務局

事業内容等については、下記にお問い合わせ下さい。

一般社団法人 **福岡県機械金属工業連合会**

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町 9 番15号

TEL 092-612-5155 FAX 092-612-5178

U R L : <http://www.fukukiren-monodzukuri.jp>

E-mail : info@fukukiren-monodzukuri.jp

(担当 渡・和田)



弛まぬ創造と挑戦で、満足を超える感動を。

松本工業の50年超の歴史は創造と挑戦の歴史です。
豊前の小さな製缶工場から始まった私達のものづくりは、
自動車産業への進出、自社製品の開発、そして中国市場の
開拓等数々の挑戦を経て、大きく飛躍してきました。
今後も自らとおお客様の想像を超えるものづくりを通じて、
「満足を超える感動」を提供していきます。



二〇一三

残暑お見舞い申し上げます



松本工業株式会社

MATSUMOTO INDUSTRY CO.,LTD.

代表取締役 松本茂樹

ホームページ <http://www.matsumoto-kk.co.jp/>

本社 〒802-0065 北九州市小倉北区三萩野1-2-5

TEL (093) 923 - 0388

FAX (093) 923 - 1522

■ 主要製品

シートフレーム部品



化成・縫製品



ピクシーシリーズ
(プレススクラップ
排出装置)



プレス部品

セクール
(避難はしご)



* 2003年グッドデザイン
中小企業庁長官特別賞

感謝



自見産業株式会社

会長 自見 榮 祐

社長 自見 修 真

本社
〒808-0022 北九州市若松区安瀬1-29
TEL : 093-751-7511

大牟田工場・営業所
〒836-0067 大牟田市四山町80-62
TEL : 0944-43-3888



二〇二二

残暑お見舞い申し上げます



響工業団地協同組合

代表理事 自見 榮 祐

副理事長 自見 修 真 理事 濱屋 慎 吉
理事 植木 秀 人 理事 日向 祥 剛
監事 山本 浩 浩 監事 松田 義 之
専務理事 自見 政 芳 外組員一同

〒808-0022 北九州市若松区安瀬1-25
TEL(093)751-4561 FAX(093)751-4565
E-mail : hibiki-1@crocus.ocn.ne.jp



渡辺鉄工株式会社

WATANABE ENGINEERING CORPORATION

代表取締役社長 渡邊 剛

〒812-0885 福岡県福岡市博多区相生町1丁目2番1号
TEL : 092-581-0331 (代表) FAX : 092-573-3748

福岡市機械金属工業会

会長 渡 邊 剛

副会長 門 谷 豊 副会長 貫 裕 充
他 会員一同

〒811-2414 糟屋郡篠栗町和田5丁目1番1号
(福岡東鉄工団地(協)内)
TEL : (092)652-2880 FAX : (092)652-2881

直方鉄工協同組合

理事長 吉 田 祐 司

副理事長 飯 野 一 義 副理事長 石 橋 和 彦
組員一同

〒822-0031 直方市大字植木849番地1
TEL : (0949)22-3241 FAX : (0949)22-3243



二〇二二 残暑お見舞い申し上げます

<p>〒803 0185 北九州市小倉南区大字石原町一七五番地 TEL (〇九三) 四五一〇一五〇</p> <p>小倉鉄工団地協同組合</p> <p>代表理事 鍋屋 秀一</p>	<p>〒800 0211 北九州市小倉南区新曾根八番三九号 TEL 〇九三 一四七一 一七二五九</p> <p>北九州工業団地協同組合</p> <p>理事長 安田敏剛</p>	<p>〒806 0011 北九州市八幡西区紅梅二丁目十一番一 TEL (〇九三) 六二一 一五五六一</p> <p>八幡鉄工業協同組合</p> <p>理事長 石川 清光</p>
<p>〒806 0011 北九州市八幡西区紅梅三丁目一番二一 TEL (〇九三) 六三一 一三七一一</p> <p>協同組合 安 協会</p> <p>理事長 中嶋 英二郎</p>	<p>〒800 0034 京都府苅田町鳥越町一番地の二六 TEL 〇九三 一四三四 〇五三三</p> <p>北九州空港鉄工協同組合</p> <p>代表理事 大水 静雄</p>	<p>〒804 0077 北九州市戸畑区牧山海岸三番十号 東洋精工(株)内 TEL (〇九三) 八六一 一 一七〇 FAX (〇九三) 八七一 一五一一六</p> <p>戸畑新工業団地協同組合</p> <p>代表理事 西竹 浩一</p>
<p>〒807 1303 鞍手郡鞍手町大字木月二〇四三 TEL (〇九四九) 四二二 一四八〇 FAX (〇九四九) 四二二 一四七七</p> <p>鞍手工業団地協同組合</p> <p>理事長 黒木 亜矢子</p>	<p style="text-align: center;">「人が育つ」と評判です。 人を育てる4つのスタイル</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1 合宿型で学ぶ 中小企業大学校</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>2 地元で学ぶ サテライト・ゼミ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>3 博多キャンパス で学ぶ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>4 Webで学ぶ ウェビーキャンパス</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px; font-size: small;"> <div style="text-align: center;"> <p>中小企業基盤整備機構九州本部 中小企業大学校直方校</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>◇◇お問い合わせはこちらまで◇◇ 〒822-0005 福岡県直方市永満寺1463-2 電話 0949-28-1144</p> </div> </div>	
<p style="text-align: center;">全九州銑鉄鑄物工業組合 福博鑄物部会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>安武鑄物工場 安武 寿郎 ☎ 〇九二 一九三五 一三九二四</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>(有) 福 間 久我 弘志 ☎ 〇九四 〇一四二 一 一三五</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>(資) 福岡鉄工所 木原 良之 ☎ 〇九二 一九三三 一九三三九</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>日之出水道機器(株) 浦上 紀之 ☎ 〇九二 一四七六 一〇七七七</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>エヌティ工業(株) 橋本 尚二 ☎ 〇九二 一九三三 一四四五〇</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>(株) 瀬戸製作所 瀬戸 浩嗣 ☎ 〇九二 一九六二 一五五六五</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>昭和鉄工(株) 日野 宏昭 ☎ 〇九二 一九三三 一六三九九</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>(株) 楠原製作所 楠原 公規 ☎ 〇九二 一九三二 一 一五九九</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>(株) エノモト 櫻本 信之 ☎ 〇九二 一六二二 一四四一六</p> </div> </div>		



確かな技術力で地域産業の育成・支援を続ける九機振

教育研修

クレーン運転士実技教習、玉掛け技能講習、
床上操作式クレーン運転技能講習、
非破壊技術者資格講習会、研修室の開放利用

材料試験

引張試験、曲げ試験、圧縮試験、硬さ試験、
コンクリート圧縮試験、フィルム(ごみ袋等)試験

機械加工

精密機械による加工、各種機械の開放利用
(ジグボーラー、大型平面研削盤、ガンドリル)



公益社団法人

九州機械工業振興会

Promote Association of Machine Industry, Kyushu.

〒804-0003

北九州市戸畑区中原新町1番1号

TEL: 093-861-3001

FAX: 093-861-3007

HP: <http://www.kyukishin.or.jp/>

E-MAIL: kksinfo@kyukishin.or.jp



二〇二二 残暑お見舞い申し上げます

九州金属熱処理工業会

- | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------|------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| (株) 石井鉄工所
代表取締役社長 皆川享哉 | (株) 石井熱錬
代表取締役社長 石井一磨 | 取締役社長 山下芳隆 | 九州イオン窒化センター(株)
代表取締役社長 原口高廣 | 九州高周波熱錬(株)
代表取締役社長 白武慎一郎 | (株) TONEZ・九州工場
代表取締役社長 大山照雄 | 九州日本電子工業(株)
代表取締役社長 境 富夫 | 高熱炉工業(株)
代表取締役社長 小出哲士 | 第一高周波工業(株)
表面処理事業部長 竹屋昭宏 | (株) フクネツ
代表取締役社長 永島誠一郎 |
|---------------------------|--------------------------|------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|

商工中金は、国とともに、
中小企業をサポートする公的金融機関です。

特長
その ① 長期的な視点で
安定したお取引

特長
その ② 中小企業の
経営課題に対応する
総合的な支援

特長
その ③ 全国と海外の
ネットワークで
ビジネスをサポート

特長
その ④ 協調と連携で
地域経済の
活性化の力に



福岡支店 092(712)6551
北九州支店 093(533)9567
久留米支店 0942(35)3381

個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定(当金庫内比較)

固定金利の半年複利(元本保証)

1年、2年、3年から期間が選べる

※ 安心、確実、お得に増やす ※



アフラック
がん保険・医療保険
保有契約件数

No.1

令和2年版
シュアランス生命保険統計号

(株)フレックスファミリー

☎ 0120-77-6556
FAX 092-541-7212

〒815-0032 福岡市南区塩原2-7-10

<引受保険会社>

「生きる」を創る。



アフラック 福岡総合支社

〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25
キャナルシティ・ビジネスセンタービル10F
TEL.092-281-6716 FAX.092-281-7360

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

◎詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。



二〇二二

残暑お見舞い申し上げます



■ 技術のご相談に応じます
テクニカルコーディネーター常駐
相談無料

■ 研究開発支援事業
実用化開発、製品試作…等
医療・福祉関連製品開発支援

■ 人材養成
ものづくり中核人材育成事業
デジタル化推進人材育成事業

■ 研究開発室 入居企業募集中
■ 貸会議室 申込受付中



(財団HP)

公益財団法人飯塚研究開発機構

〒820-8517福岡県飯塚市川津680-41

TEL 0948-21-1150 FAX 0948-21-2150 <http://www.cird.or.jp/>

令和4年度 後期

技能検定

働く人々の有する技能の習得レベルを、法律に基づき国として統一的な基準で評価・証明する技能の国家検定制度です。

- 申請受付 10月3日(月)～10月14日(金) (予定)
 - 実施職種 機械検査、シーケンス制御作業ほか 約60職種
 - 受験手数料 実技 18,200円 学科 3,100円
- ※上記は6月末時点の予定であり、今後変更される場合があります。

令和4年度 後期

ビジネス・キャリア検定試験

職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした公的資格試験です。

- 申請受付 10月3日(月)～12月9日(金)
- 試験分野 8分野(労務管理、生産管理等)
- 試験日 令和5年2月19日(日)
- 受験手数料 BASIC級 3,300円 3級 6,200円
2級 7,700円 ※1級は実施せず

お問い合わせは

福岡県職業能力開発協会

〒813-0044 福岡市東区千早5丁目3-1 福岡人材開発センター2階
TEL 092-671-1238 FAX 092-671-1354





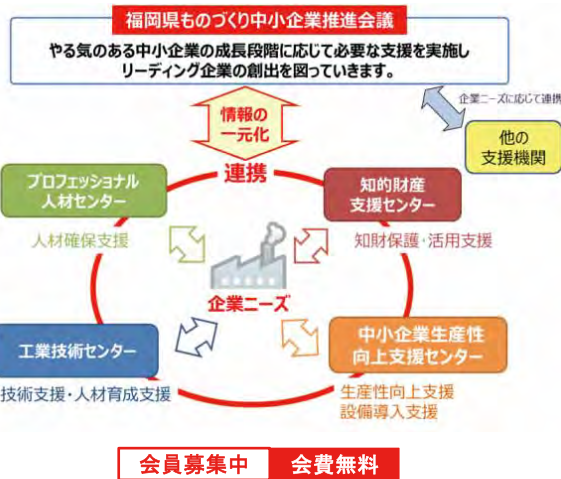
福岡県ものづくり中小企業推進会議

会長 松本 茂樹
副会長 下村 輝夫

副会長 隈 扶三郎
他 役員一同



二〇二二 残暑お見舞い申し上げます



**成長に向けた意欲ある
企業を応援します！**

- ・ 支援機関の連携による支援
- ・ ものづくりに関連した情報発信
- ・ 先進企業の取り組み紹介
- ・ ものづくりシンポジウムの開催

〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11F

TEL : (092) 612-5177
FAX : (092) 612-5178

★ エッセイ ★

博多の街を「オイサ、オイサ」の掛け声とともに颯爽と駆け抜ける昇き手と山笠。今年の博多祇園山笠は、7月15日の「追い山」をクライマックスとする「昇き山（かきやま）」が3年ぶりに実施されました。

そもそも、博多祇園山笠の起源については諸説あるのですが、鎌倉時代に博多で疫病が流行した際、承天寺の開祖であり当時の住職である聖一国師が町民に担がれた木製の施餓鬼棚に乗り、水を撒きながら町を清めてまわり、疫病退散を祈祷し

たことを発祥とするのが通説です。その博多祇園山笠が、疫病（新型コロナウイルス感染症）に屈する訳にはいかないのですが、この2年間は、新型コロナの感染状況に鑑み、飾り山の奉納だけになっていただけに、今年の「昇き山」実施で溜飲が下がった方も多かったのではないのでしょうか。

さて、2年続けて延期になっていた福機連の創立50周年記念式典。今年の「昇き山」で、新型コロナも尻尾を巻いて退散（収束）するのでは。今年こそは、会員・組合員の皆さまと笑顔で祝いたいものです。

編集・発行

(一社) 福岡県機械金属工業連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11F 115号室
TEL(092)612-5155 FAX(092)612-5178
ホームページ : <http://www.fukukiren-monodzukuri.jp>

発行年月 令和4年8月
発行人 松本 茂樹

編集人 渡・和田
印刷所 株式会社佐伯コミュニケーションズ